

鶴殿悦子(えりか)先生 研究業績目録

著書

(単著)

- 鶴殿えりか『トニ・モリスンの小説』(彩流社) 364+5 pp.  
第一回日本アメリカ文学会賞受賞 2015

(共編著)

- 松本昇・君塚淳一・鶴殿えりか編  
『ハーストン、ウォーカー、モリスン——アフリカ系アメリカ女性作家をつなぐ点と線』(南雲堂フェニックス) 359 pp.  
所収論文:「反復、変奏/変装、誤読——トニ・モリスン『ジャズ』における語りの空間」 pp. 228-248 2007

- 風呂本惇子・松本昇・鶴殿えりか・森あおい編  
『新たなトニ・モリスン』(金星堂) 235 pp. 2017年

(共著)

- 「エドガー・アラン・ポーの女性詩——「ユーラルーム」から「アナベル・リー」まで」  
岩元巖・森田孟編『アメリカ文学のヒロイン』(リーベル出版)  
pp. 19-34 1984

- 「エドガー・アラン・ポーの批評」  
岩元巖・森田孟編『アメリカの小説——理論と実践』(リーベル出版)  
pp. 32-47 1987

- 「消費されるヒーロー——十九世紀アメリカ小説と大衆文化」  
越川芳明編『アメリカ文学のヒーロー』(成美堂) pp. 23-33 1991

“Poe and Minor Literature”

- 新村昭雄・安徳軍一・山崎和夫編『英語・英文学研究の再構築』  
(九州大学出版会) pp. 129-146 1993

- 「モダニティ/セクシュアリティ/アイデンティティ——語りえぬものと近代の関係」  
海老根静江・竹村和子編『女というイデオロギー——アメリカ文学を検証する』  
(南雲堂) pp. 171-188 1999

- 「サバルタンは語ることもできる——G. C. スピヴァグの『語りかける』批評」  
武田悠一編『ジェンダーは超えられるか——新しい文学批評に向けて』  
(彩流社) pp. 139-159 2000

「パッシングを超えて

- ネラ・ラーセンの『パッシング』における人種とセクシュアリティ」  
鷺津浩子・森田孟編『イン・コンテクスト——Epistemological Framework and  
Literary Texts』(筑波大学アメリカ文学会) pp. 20-30 2003

- 「三角形の欲望——トニ・モリスンの『ソロモンの歌』における愛の構図」  
海老根静江・竹村和子編『かくも多彩な女たちの軌跡——英語圏文学の再読』  
(南雲堂) pp. 259-277 2004

- 「黒い母の表象——*Imitation of Life* から考える」  
黒人研究会編『黒人研究の世界』（青磁書房）pp. 223-232 2004
- 「閉ざされた水の下への欲望  
——トニ・モリスン『スーラ』におけるホモエロティシズムの行方」  
松本昇他編『越境・周縁・ディアスポラ——三つのアメリカ文学』  
（南雲堂フェニックス）pp. 200-215 2005
- 「インド古文書を読む G. C. スピヴァック」  
成田興史編『英米文学・英米文化試論——太平洋横断アメリカン・スタディー  
ズの視座から』（晃学出版）pp. 47-57 2007
- 「黒い血／エメラルドの水  
——トニ・モリスン『パラダイス』における歴史、人種、セクシュアリティ」  
松本昇・横田由里・稲木妙子編『木と水と空と——エスニックの地平から』  
（金星堂）pp. 109-130 2007
- 「赤ずきんちゃん気をつけて  
——トニ・モリスンの『タール・ベイビー』における女どうしの絆」  
風呂本惇子・松本昇編『英語文学とフォークロア——歌、祭り、語り』  
（南雲堂フェニックス）pp. 212-229 2008
- 「廃屋のカナリア——トニ・モリスンの『ラヴ』における女どうしの絆」  
松本昇他編『バード・イメージ——鳥のアメリカ文学』  
（金星堂）pp. 192-210 2010
- 「トニ・モリスンの『レシタティーフ』における物語の枠組みと三角形のきずな」  
多民族研究学会編『エスニック研究のフロンティア』  
（金星堂）pp. 218-229 2014
- 「エドガー・アラン・ポーとマイナー文学」  
越川芳明他編『アメリカ文学における法と生』（悠書館）pp. 45-61 2017
- （共訳書）  
岩元巖・酒本雅之監訳『アメリカ文学作家作品事典』（本の友社） 1991
- 鵜殿えりか・藤森かよこ訳  
『抵抗する読者——フェミニストが読むアメリカ文学』（ユニテ） 1994
- 水田珠枝・安川悦子監訳『フェミニズム歴史事典』（明石書店） 2000
- 学位論文**  
文学修士論文 “The Double Face of Edgar Allan Poe”（お茶の水女子大学） 1977
- 博士（文学）学位論文  
「トニ・モリスンの小説——物語の枠組みと三角形のきずな」（筑波大学） 2014
- 学術論文**  
「E. A. ポウの長編小説考——*The Narrative of Arthur Gordon Pym*」  
『えちゅーど』（お茶の水女子大学大学院）6号 pp. 45-56 1976

- 「挑戦と退避——ポウの有限な世界」  
『アメリカ文学』（日本アメリカ文学会東京支部）33号 pp. 13-17 1977
- 「虚無の壁——『バートルビー』考」 『えちゅーど』 8号 pp. 41-49 1978
- 「白い壁・黒い淵——エドガー・アラン・ポウ試論」  
『アメリカ文学評論』（東京教育大学・筑波大学アメリカ文学会）1号  
pp. 79-87 1978
- 「迷宮としての世界(I)——アメリカ文学における迷宮のイメージについて」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』29号 pp. 25-46 1980
- 「“For Annie”について——ポウの晩年の詩に関する一考察」  
『Mulberry』（愛知県立大学文学部英文学科）29号 pp. 113-128 1980
- 「影と破滅の美学——エドガー・アラン・ポウにおける実体と影」  
『アメリカ文学評論』2号 pp. 55-65 1980
- 「永遠と時間の遠近法——エドガー・アラン・ポウの詩における『今昔』構造について」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』30号 pp. 29-43 1981
- 「鏡の中の無限——エドガー・アラン・ポウの『ナンタケット島のアーサー・ゴードン・ピムの話』について」  
『アメリカ文学評論』（筑波大学アメリカ文学会）5号 pp. 28-36 1984
- 「白い漏斗——Herman Melvilleの“The Paradise of Bachelors and the Tartarus of Maids”  
について」 『Mulberry』33号 pp. 19-34 1984
- 「『白鯨』と九隻の舟」 『Mulberry』34号 pp. 75-85 1985
- 「*The Narrative of Arthur Gordon Pym* 研究(I)」  
『愛知県立大学創立二十周年記念論集』 pp. 639-656 1986
- 「*The Narrative of Arthur Gordon Pym* 研究(II)」 『Mulberry』35号 pp. 109-121 1986
- 「Poe——マイナー文学のために」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』39号 pp. 57-78 1991
- 「ポストモダニズムとは何か」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』41号 pp. 73-83 1993
- 「モダニズムとポストモダニズム」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』42号 pp. 79-95 1994
- 「差別と言語——トニ・モリスンの『青い眼がほしい』」  
『アメリカ文学評論』14号 pp. 84-101（本文），pp. 26-28（abstract） 1994
- 「モダンからポストモダンへ」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』43号 pp. 49-61 1994

- 「ポストコロニアリズムの可能性」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』44号 pp. 101-119 1995
- 「他者・人種・セクシュアリティ」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』45号 pp. 39-56 1997
- “The Double Face of Edgar Allan Poe (I)”  
『Mulberry』46号 pp. 53-67 1997
- “The Double Face of Edgar Allan Poe (II)”  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』46号 pp. 17-31 1997
- 「語るもの／語りえぬもの—— Toni Morrison, *Beloved* 論（上）」  
『英語青年』(研究社) 145巻7号 pp. 454-456 1999
- 「語るもの／語りえぬもの—— Toni Morrison, *Beloved* 論（下）」  
『英語青年』145巻8号 pp. 525-530 1999
- 「アーカイヴズを読む G. C. Spivak」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』49号 pp. 75-84 2001
- 「黒人の母の表象——映画 *Imitation of Life* から考える」  
『Mulberry』53号 pp. 29-49 2004
- 「Toni Morrison, *Jazz* における反復と変奏」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』53号 pp. 63-83 2005
- “Mother’s Milk, Collective Discourse, and Representation:  
Speakable/Unspeakable in Toni Morrison’s *Beloved*”  
『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』7号 pp. 1-20 2006
- 「黒い血／エメラルドの水  
——トニ・モリスンの『パラダイス』における他者・人種・セクシュアリティ」  
『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』8号 pp. 35-58 2007
- “Toni Morrison and the Tradition of Christianity: Comment on Sugiyama Naoko’s Essay”  
*Nanzan Review of American Studies: Journal of the Center for American Studies,*  
*Nanzan University* (南山大学アメリカ研究センター) 29号 pp. 187-192 2007
- 「裏切りとセクシュアリティ——トニ・モリスンの『青い眼がほしい』における語り手」  
『黒人研究』(黒人研究会) 77号 pp. 10-17 2008
- 「愛知県立大学学長特別教員研究費研究成果報告書  
——アフリカ系アメリカ文学におけるセクシュアリティ・人種・ジェンダーの  
輻輳的構造の分析その1：Toni Morrison 研究」 28 pp. 2008
- 「Toni Morrison, *Love* における女どうしのきずな」  
*Seijo English Monographs*, No. 42 pp. 33-51 2010
- 「裏切りときずな—— Toni Morrison, *A Mercy* における愛の構図」  
『黒人研究』79号 pp. 63-70 2010

- “Take Care, Little Red Riding Hood: Female Bonding in Toni Morrison’s *Tar Baby*”  
『愛知県立大学外国語学部紀要』43号 pp. 343–360 2011
- “Desire Under the Closed Water: Homoeroticism in Toni Morrison’s *Sula*”  
『ことばの世界』(愛知県立大学高等言語教育研究所)4号 pp. 115–124 2012
- 「トニ・モリスンの『レシタティーフ』にみる三角形のきずな」  
『ことばの世界』5号 pp. 111–123 2013
- その他**  
(書評)
- 水田宗子著『エドガー・アラン・ポウの世界——罪と夢』  
『英語青年』(研究社)128巻12号 p. 764 1983
- 伊藤諤子著『アルヘンハイムへの道——エドガー・アラン・ポーの文学』  
『英文学研究』(日本英文学会)65巻2号 pp. 275–280 1989
- David Theo Goldberg, ed., *Multiculturalism: A Critical Reader*  
『英語青年』141巻5号 p. 262 1995
- 巽孝之著『E. A. ポウを読む』 『英語青年』141巻10号 pp. 584–585 1995
- Roger Shattuck, *Forbidden Knowledge: From Prometheus to Pornography*  
『英語青年』142巻12号 pp. 39–40 1997
- 山形和美編『差異と同一化——ポストコロニアル文学論』  
『週間読書人』2188号(6月6日号) p. 5 1997
- 藤平育子著『カーニヴァル色のパッチワーク・キルト——トニ・モリスンの文学』  
『英文学研究』第74巻1号 pp. 94–99 1997
- 下河辺美知子著『歴史とトラウマ——記憶の忘却のメカニズム』  
『英語青年』146巻4号 p. 272 2000
- 大井浩二編『共和国の振り子——アメリカ文学のダイナミズム』  
『アメリカ文学研究』(日本アメリカ文学会)41号 pp. 108–114 2005
- 三浦玲一編『文化アイデンティティの行方  
——一橋大学言語社会研究科国際シンポジウムの記録』  
『英文学研究』83号 pp. 181–185 2006
- ウォルター・ベン・マイケルズ著『シニフィアンのかたち  
——一九六七年から歴史の終わりまで』  
『図書新聞』2806号(1月20日号) p. 1 2007
- 永瀬美智子著『トニ・モリスン [1]』  
『中部アメリカ文学』(日本アメリカ文学会中部支部)10号 pp. 38–41 2007
- 杉山直子著『アメリカ・マイノリティ女性文学と母性  
——キングストン、モリスン、シルコウ』  
『英語青年』153巻7号 pp. 440–441 2007

- 野口啓子著『後ろから読むエドガー・アラン・ポー——反動とカラクリの文学』  
『アメリカ学会会報』（アメリカ学会）167号 p. 8 2008
- 越智道雄監修『9.11とアメリカ——映画に見る現代社会と文化』  
『日本ポー学会 Newsletter』（日本ポー学会）4号 pp. 8-9 2009
- 佐川和茂著『ホロコーストの影を生きて——ユダヤ系文学の表象と継承』  
『アメリカ学会会報』171号 p. 7 2009
- 村山淳彦著『エドガー・アラン・ポーの復讐』  
『アメリカ文学研究』52号 pp. 114-119 2016
- (研究ノート、翻訳、雑誌・新聞記事)
- 「Moby-Dickの主人公について」  
『シュンボシオン』（筑波大学大学院）1号 pp. 84-86 1982
- 「続ロマンの舞台——ナンタケット島」 『毎日新聞』夕刊（6月11日） 1982
- 翻訳「ジョン・カーロス・ロウ『書くことと真実』  
——ポーの『アーサー・ゴードン・ピムの話』について」  
『Mulberry』36号 pp. 75-89 1987
- 翻訳「ジュデス・フェッターリー『文学の政治について』」  
『愛知県立大学文学部論集（英文学科編）』40号 pp. 103-115 1992
- 「回転いす——フェミニストがなすべき仕事」 『中日新聞』夕刊（6月22日） 1994
- 「20世紀のこの1点——Edward W. Said, *Orientalism*」  
『英語青年』144巻11号 p. 677 1999
- 「英文学の教え方(II)」 『英語青年』148巻9号 p. 554 2002
- 「英語・英文学・英語学教育を考える(8): 授業で活用するこの映画」  
『英語青年』152巻9号 p. 536 2006
- 「トニ・モリスンの文学」 『中日新聞』夕刊（11月20日） 2015
- 口頭発表・講演**
- 「エドガー・アラン・ポウにおける虚実」  
東京教育大学・筑波大学アメリカ文学会例会 於大妻女子大学 1979
- 「影と破滅の美学——エドガー・アラン・ポウにおける実態と影」  
日本英文学会第51回全国大会 於専修大学 1979
- 「“For Annie”について——ポウの晩年の詩に関する一考察」  
日本アメリカ文学会中部支部例会 於名古屋大学 1980
- 「過去・現在の透視画——エドガー・アラン・ポウの詩の場合」  
日本アメリカ文学会第19回全国大会 於島根大学 1980

- 「エドガー・アラン・ポウの *The Narrative of Arthur Gordon Pym of Nantucket* について」  
日本アメリカ文学会中部支部例会 於名古屋大学 1983
- 「ハーマン・メルヴィルの “*The Paradise of Bachelors and the Tartarus of Maids*” について」  
日本アメリカ文学会中部支部第1回大会 於愛知県立大学 1984
- 「エドガー・アラン・ポウの女性詩——『ユールーム』から『アナベル・リー』まで」  
筑波大学・東京教育大学アメリカ文学研究会例会 於大妻女子大学 1984
- シンポジウム講師「Poe と批判方法論」  
日本アメリカ文学会第24回全国大会 於三重大学 1985
- 「エドガー・アラン・ポウとマイナー文学」  
日本アメリカ文学会中部支部例会 於名古屋大学 1990
- 「Poe ——マイナー文学のために」  
日本アメリカ文学会第29回全国大会 於甲南女子大学 1990
- 文献討論会講師「New Historicism」  
筑波大学アメリカ文学会例会 於筑波大学 1992
- 「モダニズムとポストモダニズム」  
日本アメリカ文学会中部支部例会 於椛山女学園大学 1993
- シンポジウム司会・講師「トニ・モリスンを読む」  
日本アメリカ文学会中部支部第11回大会 於椛山女学園大学 1994
- 文献討論会講師「Gender Trouble」  
筑波大学アメリカ文学会例会 於筑波大学 1996
- シンポジウム講師「越境する身体——人種／ジェンダー／セクシュアリティ」  
日本比較文学会中部支部第4回大会 於名古屋工業大学 1996
- セミナー講師「歴史の中の女性たち——アメリカのフェミニズムの行方」  
ウィルあいちセミナー 於ウィルあいち（愛知県女性総合センター） 1997
- 「近代／セクシュアリティ／アイデンティティ」  
筑波大学アメリカ文学会例会 於筑波大学 1998
- 「近代／セクシュアリティ／アイデンティティ」  
日本英文学会第70回全国大会 於京都大学 1998
- シンポジウム司会・講師「語るもの／語りえぬもの——歴史の記憶と文学」  
名古屋大学 UIROT 研例会 於名古屋大学 1998
- シンポジウム司会・講師「語るもの／語りえぬもの——歴史の記憶と文学」  
日本アメリカ文学会第37回全国大会 於広島女学院大学 1998
- 講演「語りえぬもの——Toni Morrison の *Beloved* と Claude Lanzman の *Shoah*」  
日本イギリス児童文学会中部日本支部例会 於中京大学 1999

「G. C. Spivak の批評」	筑波大学アメリカ文学会例会 於筑波大学	1999
シンポジウム司会・講師「G. C. Spivak と『ポストコロニアル理性批判』」	日本英文学会中部支部第52回大会 於愛知県立大学	2000
「欲望の三角形—— Toni Morrison, <i>Song of Solomon</i> における愛の構図」	日本アメリカ文学会中部支部例会 於中京大学	2002
シンポジウム講師「セクシュアリティ・ナショナリティ・人種の表象から映画を考える」	愛知淑徳大学ジェンダー・女性学研究所主催 於愛知淑徳大学	2002
「メロドラマ／メタメロドラマにおける黒人表象——映画 <i>Imitation of Life</i> から考える」	黒人研究会東京支部例会 於青山学院大学	2003
「Toni Morrison, <i>Jazz</i> におけるパラダイスの形成と崩壊」	日本アメリカ文学会中部支部例会 於中京大学	2003
シンポジウム講師「ハーストン、ウォーカー、モリスンを繋ぐ点と線」	日本アメリカ文学会東北支部例会 於岩手大学	2004
“Mother’s Milk, Collective Discourse, and Representation: Toni Morrison’s <i>Beloved</i> ”	International American Studies Association World Congress, at the University of Ottawa	2005
文献討論会講師「Elizabeth Grosz, <i>Volatile Bodies</i> 」	お茶の水女子大学21世紀 COE プログラム・ジェンダー研究のフロンティア 第5回英語圏文献討論会 於お茶の水女子大学	2005
文献読書会司会・講師「Susan Sontag, <i>Against Interpretation</i> を読む」	日本アメリカ文学会中部支部例会 於中京大学	2005
ワークショップ講師「水と川と海と——エスニックの地平から」	日本アメリカ文学会第45回全国大会 於法政大学	2006
講演「トニ・モリスンの文学——歴史／人種／セクシュアリティ」	第12回英語圏ポストコロニアル文学研究会 於中京大学	2006
討論会コメンテーター“Toni Morrison and the Tradition of Christianity”	Nagoya American Studies Summer Seminar 於南山大学	2007
「裏切りとセクシュアリティ—— Toni Morrison, <i>The Bluest Eye</i> における語り手」	日本アメリカ文学会中部支部例会 於中京大学	2007
「赤ずきんちゃん気をつけて ——トニ・モリスン『タールベイビー』における女どうしのきずな」	黒人研究会例会 於キャンパスプラザ京都	2008
ワークショップ講師「鳥の表象——エスニシティを超えて」	日本アメリカ文学会第47回全国大会ワークショップ 於西南学院大学	2008



- 「裏切りとぎずな—— Toni Morrison, *A Mercy* における愛の構図」  
黒人研究会例会 於大阪工業大学 2009
- 「トニ・モリスンの『マーシー』における裏切りとぎずな」  
日本アメリカ文学会中部支部例会 於名城大学 2010
- “Take Care, Little Red Riding Hood: Female Bonds in Toni Morrison’s *Tar Baby*”  
The 6th Biennial Conference of the Toni Morrison Society, at Université Paris 8 2010
- シンポジウム司会・講師「ハーレム・ルネサンスのアフリカ系アメリカ女性作家再考」  
日本アメリカ文学会中部支部第29回大会 於愛知淑徳大学 2012
- シンポジウム講師「トニ・モリスンの描くアメリカ——植民地時代から公民権運動の時代」  
日本英文学会九州支部第65回大会 於九州産業大学 2012
- “The Trans-Atlantic Textual Exchange: Nella Larsen and Sheila Kaye-Smith”  
International American Studies Association 6th World Congress,  
at Szczecin, Poland 2013
- 「トニ・モリスンの『レシタティーフ』」  
愛知県立大学教育研究発表会 於愛知県立大学 2014
- 「トニ・モリスンの小説の物語構造」  
黒人研究学会例会 於立命館大学朱雀キャンパス 2016
- 「ヘンゼルとグレーテルの変容——トニ・モリスンの『ホーム』における兄妹の闘争」  
日本アメリカ文学会中部支部例会 於愛知大学名古屋キャンパス 2016
- 講演「トニ・モリスンの小説——『ホーム』を中心にして」  
筑波大学アメリカ文学会秋季例会 於筑波大学東京キャンパス 2016
- 受賞**  
第一回日本アメリカ文学会賞 2016

#### 学会活動・社会活動

日本英文学会 本部：大会準備委員、中部支部：編集委員（副編集委員長）  
日本アメリカ文学会 本部：代議員、編集委員、大会運営委員、中部支部：支部長、  
幹事、運営委員（運営委員長）、編集委員（編集委員長）、事務局  
黒人研究学会：企画委員  
多民族研究学会：理事  
日本アメリカ学会  
日本ポー学会  
筑波大学アメリカ文学会  
Toni Morrison Society, International American Studies Association  
お茶の水女子大学21世紀 COE プログラム「ジェンダー研究のフロンティア」客員研  
究員（2004年度～2007年度）  
名古屋市生涯学習推進センター協議会委員（委員長）（2008年度～2013年度）  
愛知県図書館専門委員会委員長（2014年度～2015年度）  
愛知芸術文化センター運営会議委員（2014年度～2015年度）  
東海地区図書館協議会理事（2014年度）